

令和 6 年 8 月 2 日

教育民生常任委員会委員長

三林 浩 様

東員町議会

片 松 雅 弘

研 修 報 告 書

研修期間	令和 6 年 7 月 30 日（火） ～ 7 月 31 日（水）【 2 日間】
研修（視察）先	岡山県奈義町・兵庫県明石市
目的（テーマ等）	少子化対策 子ども医療費の無償化について・中学校給食の無償化について
参加議員 （複数の場合）	片松雅弘・三林 浩・三宅耕三・広田久男・ 山崎まゆみ・大崎昭一
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

教育民生常任委員会では、令和 6 年・7 年度の活動スケジュールのテーマを 2 つ掲げました。1 つは「持続可能な町の取り組み」2 つ目は「子ども子育てを取り組む社会」です。今回の研修は 2 つ目のテーマの中の「少子化対策」と「子育て支援」について、岡山県奈義町と兵庫県明石市の視察研修に行きました。

岡山県奈義町には「少子化対策」を研修させていただきました。

奈義町は「子育て応援宣言」を打ち出し合計特殊出生率 2.95（2,019 年）という驚異の数字を出した町です。

平成の大合併は行わず東員町と同じ「単独町制」で面積 69.52 k m²（東西約 9 k m/南北 10 k m）人口は 5759 人・世帯数 2532 世帯（令和 4 年現在）の東員町より面積約 3 倍人口は約 1/4 の中国山地のふもとの小さな町です。

また東員町との大きな違いは自衛隊（日本原駐屯地/演習場）があります。

全国の市町村での大きな課題は「人口減少」であり、そのための特色ある施策を各市町村は打ち出しています。

奈義町は目標を「今後も現在の人口を維持する」と明確にし、そのための対策として環境整備として①住宅施策（住む環境）②就労の場の確保施策（働く環境）③子育て支援（生み育てる環境）を行っています。

子育てしながら空いた時間をちょっとだけ・子連れでも働きたい・ちょっとだけを結ぶ新しい仕事のカタチで、一般社団法人しごとえん（町民全体で法人化）で、1 つの仕事をみんなでワークシェアすることで、より多くの人が地域や社会に関われる総活躍や、町の中にある仕事や新しい仕事の受け皿づくりができる「仕事コンビニ」事業として子育て中の母親、保育園・幼稚園・小・中・高校生の保護者が対象に行っています。

もちろん子育て支援策として高等学校等就学支援金交付事業や不妊治療費助成事業・高校生までの子供の医療費助成事業・ひとり親福祉年金交付事業なども行っています。

「住むところがあって安心」「子育ての負担が軽くなり安心」「働くことができて安心」

「子育ての悩みや喜びが共有出来て安心」「町のみんなが子育てを応援してくれて安心」

地域ぐるみの安心感で支援していました。東員町でも子育て支援策は行っていますが、仕事コンビニ事業のような支援や、より多くの保護者や人が関わり地域で子育てできる環境づくりの支援も東員町で必要だと感じました。

明石市には「子ども医療費の無料化について」と「中学校給食費の無償化について」明石市市役所に研修させていただきました。

11 年連続人口増になっている中核市です。

独自の子育て支援に力を入れており①子ども医療費の無料化 ②第 2 子以降の保育園料完全無料化 ③0 歳児の見守りおむつを無料でお届け（計 10 回） ④中学校給食費無償 ⑤公共施設入場無料で 5 つの柱はすべて所得制限なしで行っています。前市長の強いリーダーシップにより国がやるよりも先に施策を行うことも多いそうです。

また交付金などのバラマキは子どもに届かない場合があるので、子どもに届く支援をしていくという強い思いが感じられました。東員町は子どもの医療費は中学校まで無料にしていますが明石市は高校性の医療費も無料にしています。高校生の医療費負担は 1 人

当たり約 30000 円になるとの実績でした。

高校生になるとあまり医者にはいかないのかなと思っていましたが、意外とかかるものだと思います。

前明石市市長は「本気になれば必ずできる」と常々言っていたそうです。首長の熱い思いと本気度合いは本当に大切だと思います。

今回の先進地や手本となる市町村を視察し現地視察し生の声を引けたことは、大変参考になり、私にとって有意義な研修でした。

議員 1 人一人も熱い志を持ち、課題に取り組んでいきたいと思っています。